

活動報告書

- ① グループ名 NPOスクエア連絡会
- ② 提案名 みなとみらい・バリアフリーガイド
- ③ 助成を受けて行った活動の時期及び内容

- 活動時期 2011年9月～2012年3月
- 活動内容 バリアフリー情報提供のためのガイドブック「みなしみらい21 ウェルカムマニュアル -車いすを使う方をご案内するために-」を作成
A5版 40ページ
500部 印刷



2009年・2010年度に受けた「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成」によってみなとみらい21にて車椅子による街の探索を行った成果をまとめた小冊子です。車いすを使ってみなとみらい21で活動する人たちを、さまざまなシーンでご案内するための手引きとして作成しました。

この形にまとめるにあたり、

- エレベーターの仕様
- スロープの位置
- トイレの細かい仕様

については、今期の活動で改めて正確な調査を行い、データを最新にするようにつとめました。

- ④ エリアマネジメントにおける効果
- 横浜みなとみらい21地区のイメージとブランド力を上げます。
 - 「横浜みなとみらい21」のバリアフリーをより実質的なものへと進化させ、結果的に、快適にみなとみらい地区で活動できる人の層と活動の幅が広がります。
 - 横浜みなとみらい21の施設についてのさまざまな「気づき」のきっかけとなります。
 - 施設のバリアフリー状況の長所と短所を理解することにより、新設、改修の際に、より利用範囲の広いものへと展開させることができます（ユニバーサル・デザイン）
 - 代替サービス提供、適切なお案内など、短所を補うサービス提供はもちろん、新しいサービスを作り出して展開するヒントとなります。

- 接客の現場で、すぐに役立つマニュアルです。
 - お問い合わせがあったとき、参照すれば、必要なバリアフリー情報をお伝えできます。
 - 当該施設だけでなく、みなとみらい21全体のバリアフリー情報を得ることができます。
 - 顧客満足研修の中で、接客研修などの学習素材として利用できます。

⑤ 今後の活動展望(課題や活動の広げ方、継続性 等)

冊子にまとめたことで、みなとみらい21のバリアフリー状況を調査する活動は一区切りとなります。今後は、この冊子を、みなさまに広く利用していただき、みなとみらい21地区が、さまざまな人にとって、より活動しやすい街になるよう期待します。

- 広くみなとみらい21地区のテナントに活用していただくために
 - ブックレットを、横浜みなとみらい21のネットワークを通じて、積極的に、テナントや企業に配布し、可能であれば、意見交換を行いたいと思います。
 - ウェブでのデータ配布と合わせて、オンデマンド印刷など、紙媒体でも引き続き配布できる仕組みを作ります。
- みなとみらい21のバリアフリー状況を広くPRするために
 - 横浜市や神奈川県を通じて、冊子をPRします。
 - 関係ジャーナリスト、マスコミへの記者発表をします。

収 支 決 算 書

団体名 NPOスクエア連絡会

1 収入

項 目	金 額	説明（負担者及び負担方法等）
交付された助成金（A）	400,000	/
NPOスクエア連絡会	117,110	
合 計	517,110	

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単価	金 額	説 明
アドバイザー謝礼 (イラスト・編集・校正・交通費を含む)			160,000	山本洋子 (70,000) 土屋真美子 (50,000) 落合恵美子 (20,000) 仲田康博 (20,000)
打ち合わせ交通費			57,860	石井揚子19回分 (20,900) 川嶋庸子21回分 (36,960)
印刷費（編集を含む）			299,250	大川印刷
合 計 (B)	/	/	517,110	

3 決算後の助成金の額

◎(1) (A) ≤ (B) × 4/5 の場合 (A) の額 ¥400,000 .-

(2) (A) > (B) × 4/5 の場合 (B) × 4/5 の額 ¥413,688.-